

1. 「北風と太陽」

ある時、北風と太陽が、どちらが強いかで言い争いをしました。

「強いのは俺様に決まってる。俺様がピューッと一息吹けば、花も木も、家の屋根だ
って吹き飛ばせ。」

北風がそう言っても、「はっはっは。そうかな」と、太陽はニコニコ笑っているだけ
です。

「どちらが強いか、力比べしてみようじゃないか」と、北風が言いました。

「ようし、太陽。あれが見えるか。」

野原の一本道を一人の旅人が歩いて行きます。

「どうだ、あの旅人のコートを脱がせたほうが勝ちにしよう。」

太陽は落ち着いて、「そうしましょう」と言いました。

「ようし。じゃあ、俺様からいくぞ！」

北風は、旅人に向けて冷たい風を勢いよく吹きつけました。

「ピューッ！ピューッ！」

「うわあ、寒い！」

旅人は突然、空から冷たい風が吹いてきたので、思わずコートをしっかり押さえまし
た。

怒った北風は、もっともっと力をこめて、冷たい風を吹きつけました。

「ピューッ！ピューッ！！！」

「こ、こりゃ、たまらん！」

たびびと さむ た いもむし からだ まる
旅人は寒さに耐えられなくなって、芋虫のように体を丸めてしまいました。

「ははは。では、今度はわたしの番ですね。」

たいよう きたかぜ こうたい たたびびと む あたた ひ な
太陽は北風と交代すると、旅人に向けて、ぽかぽかと暖かい日ざしを投げかけました。

「ポカポカポカ〜。」

きゅう つめ かぜ や たたびびと かお あ
急に冷たい風が止んだので、「おや？」と旅人は顔を上げました。

そら たいよう やさ かがや
空には太陽が優しく輝いています。

「ああ〜、助かった。暖かくなってきたぞ。」

たびびと た あ ある だ
旅人はほっとして立ち上がると、ゆっくりと歩き出しました。

「ポカポカポカポカ〜。」

すると旅人は、「ああ、暖かくて気持ちいいなあ」と言うと、コートを脱ぎました。

「ははは。どうやら勝ったのは、わたしのようですね。」

たいよう わら い
太陽が笑って言いました。